

第4回白石町総合計画審議会 会議録（要旨）

- 日時 平成27年1月13日（火） 午後7時～午後8時40分
- 場所 白石町役場庁舎3階大会議室
- 出席者 委員：18人出席、6人欠席
町：副町長、企画財政課職員4人、総合計画策定委員及び策定主任

○開会【進行：吉岡課長補佐】

○会長挨拶

ご多忙の中御参集いただき厚く御礼申し上げます。前回第3回の審議会が12月25日開催で本日が第4回目の審議会になります。この間正月、県知事選挙を挟み、皆様非常に御多忙であったかと思えます。本日は総合計画の素案が主題になりますので、十分御審議いただきたい。

なお、本日の新聞に地方の一般財源が61兆5千億円、地方創生の推進、歳出でのまち・ひと・しごと創生事業1兆円の新設により、安部政権の地方創生を本格化させるため、自治体の財源を重視する内容となっていると載っている。益々地方における政策形成が重要な課題ではないかと思えます。それからしますと、この第2次総合計画を十分御審議いただき、より良いものとしていただきたい。

○審議事項

進 行：3 審議事項に入ります。ここからは白武会長に進行をお願いします。

（1）現行総合計画の検証について

会 長：それでは、審議事項の第1番目であります「（1）現行総合計画の検証について」を議題としたいと思えます。この件については、前回の第3回の審議会で事務局の説明がっておりますので、本日は委員皆様方の御意見や御質問をいただくということになります。特に評価点3以下の計画等についてあればお願いします。挙手をしていただき、私が指名をしてから、事務局がマイクをお持ちしますので、名前を述べてからお願いします。ございませんでしょうか。

委 員：検証シート3ページ、消防・救急体制の充実についてお聞きしたい。B評価とされているが、消火栓についてどの程度整備が進んでいるか。自分の地域にほとんどないが。

総務課：消火栓、防火水槽について、町の方針として半径200m範囲内に最低1か所を原則として進めており、道路工事に合わせた整備もやっている。委員が言われたことについては、消防団とも協議しながら手薄な所については、今後整備していきたい。そういうことからB評価としている。

委員：防火水槽はあるが、消火栓が無い。防火水槽から距離が遠いため、もしもの火災のためにも、できるだけ早く。丁度消防団とも話していたので、本日お話ししたところ。

総務課：今後設置に向けて、消防団とも協議していきたい。

会長：他にございませんか。特にこの件については、第2次総合計画に反映していくことになるので、意見や質問をお願いします。

委員：1ページの建設課維持管理係と水道課庶務係の総合型地図情報システム（GIS）について、どういうことに利用されているのか。農家の圃場地図にも使えるのか。

建設課：GISについては、道路網や水道管網などの町内地図上に管理して、役場内各課で共有して使うもの。農家の農地情報については農業委員会で管理している。税務課の固定資産評価にも利用し、航空写真を撮影したデータを取り込んでいる。

委員：役場内だけでなく、貸出しとかで民間でも使えるようなものか。

建設課：貸出しはしていない。民間でも国土調査の測量座標データについて請求があれば、提供している。

水道課：GISについて、水道課ではシステム上で水道管の管径や材質、施工年などを管理している。

企画財政課：農家台帳システムについては、基本的に役場内で管理することを前提に整備している。耕作者のデータ、借受者の状況などを管理している。農協各支所単位で転作等に活用できないか検討したが、個人情報観点から公開するのは困難。

委員：13ページ、産業課商工観光係の地域間交流の推進について、私は、まちおこし委員会の委員長をしている。町内で、春・夏・秋に3つの祭りをやっている。私としては、100%近くじゃないかと思うが、どういうところがいけないのか。

事務局：評価については、役場各課で相対的に判断して行っており、控え目にしたところもある。

委員：それは分かるが、我々民間ではかなり力を入れてやっている。秋は総動員数350人、役場は60人位で、あとは民間でやっている。そこを考えると、評価点が少ない。

事務局：この御意見は、産業課に伝える。

委員：全体的に、役場各課で評価してあるが、町民の満足度を入れてないのか。今後町民の意見も入れてやっていただきたい。

事務局：今回検証を行うについては、役場内でもかなり議論したところ。素案で示しているとおおり、行財政調査委員会の評価をいただくことにしており、作りっぱなしにならないようにしている。現行総合計画については、数値目標もなく、町民の意見を聞く仕組みになっていないので、第2次総合計画で考えていきたい。

会長：今ありましたとおおり、第2次総合計画で町民の意見を入れる評価の仕組みについて、反映させていただきたい。

(2) 第2次総合計画素案について

会長：他にございませんか。なければ、審議事項の2番目、「第2次白石町総合計画素案について」を議題とします。この件についても、前回の第3回審議会で事務局の説明があっています。非常に量が多いですが、本日の審議内容により、ほぼ総合計画の概要が固まることとなりますので、ページ毎に区切って進めていきたいと思えます。

会長：序論の1ページから4ページについて、御意見、御質問をお願いします。

会長：無いようでございますので、具体的な章に入っていきたいと思えます。基本計画「第1総合計画策定の基礎的条件の見通し」から「第3まちづくりの大綱」、5ページから8ページについて、御意見、御質問をお願いします。

会長：将来的な見通しなり、まちづくりの大綱ですが、この中でありませんか。

委員：このままのスペース（書式）でいくのか。空いた所に何か入れる予定はないのか。

事務局：例えば6ページの見通しについては、前回報告しました人口推計グラフを挿入して、分かりやすくしたいと思っている。

会長：他にございませんか。それでは、「第4まちづくりの取組 第1章ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】」、9ページから15ページまでについて、ありませんか。

会長：朱書き部分について、事務局から説明を。

(事務局から、第1章の朱書き部分、前回との章節の変更点、特色について説明。)

会 長：皆様からごさいませんか。無ければ、今後非常に大きな課題となる「第2章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】

(事務局から、第1章の朱書き部分、前回との章節の変更点、特色について説明。)

委 員：介護関係のことだが、昨年10月22日に役場、JA、社協の方で顔合わせをして、要支援1の方へのケアをどうやっていくかというネットの1回目会合をして、平成29年度からの対策について検討している。今年2月13日には、社協を借りて認知症家族のケアをしていこうということで、ボランティア3人を確保してやっていこうと思っている。役場の協力をお願いする。

長寿社会課：これまで介護保険でやっていたデイサービスとホームヘルプ事業については、平成29年度から町の地域支援事業で実施するように、広域圏内で確認している。地域ボランティアの活動や町での新規事業を模索していくことになる。町としても是非とも協力をいただいでやっていきたい。

会 長：他にございませんでしょうか。高齢などの問題、社会福祉について予算等の充実が求められる項目でありますので、お願いします。
無ければ後でも結構ですので、お願いします。次に、「第3章活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】」、23ページから27ページについて、特に我が町としては、第1次産業が重要なので、お願いしたい。

委 員：23ページ、主な取組「2 集落営農組織、複数個別経営体の法人化」産業課について、組織数目標が30組織とされているが、今現在でも産業課はだいぶ苦勞してもらっているが、支援体制は変わる予定があるのか。どのようなやり方をするのか。

事務局：産業課が所用のため出席出来ていないが、町の支援体制については、現在のままとされている。30組織は、今後の法人化計画の希望的な数字と伺っている。

会 長：特に委員さんからもありましたとおり、強力な支援がないと難しい。30組織というのは、現在1組織なのに大丈夫かという心配もあると思いますので、十分担当課につないで欲しい。

委 員：(商店街について) 前の会議で都市計画がダメになったと聞いたが、大店舗が増えてきて、小さな商店街がシャッターを降ろしている。これがこのままで良いのか、雇用を促進するのか、自営を促進するのか明確になっていない。雇用を促進するのであれば、都市計画での網かけが必要だが、それもされていない。商店街の活性化はなかなか無理ではないか。食堂も閉まっている。どちらかに区切りを付けるべきではないか。
もうひとつ、主な取組に「杵島山などの豊かな自然」(26ページ)とあり

ますが、有明地域の杵島山に朝日が昇る写真を、1日に10人位登って来られている。わざわざ北九州、福岡、長崎から写真撮影に来ている。景色が良いから来られている。そういうものを上手に活かして観光地のようにしたら、地域にも少しぐらいはお金が落ちるのではないか。

建設課：都市計画について、旧3町では旧白石町だけが都市計画を策定していた。平成23年度に都市計画マスタープランを策定したが、審議会のなかで、建築確認申請の制約、都市計画道路沿線のセットバックなどで問題視され、県の都市計画の見直しが平成26年度に行われるので、それを待って来年度に都市計画マスタープランの見直しを実施するようにしている。

事務局：観光の振興について、26ページに1～3の主な取組みを上げている。かねがね町議会の指摘があっており、町単独ではなく周辺市町村と連携してはどうか、例えば温泉地とのつながりを作ってはどうかとも言われてきた。昨年10月に開催した「白石町の未来を考えるシンポジウム」の際にも、山口新知事の講演でヒントもいただいている。役場内部の産業課の観光・農産物のPR、総務課の広報、企画財政課の地域づくりの3つを合わせて情報発信をやって行こうと考えている。他の市町村では、フォトコンテストも実施されているが、町のPRというのはなかなか出来ていなかったのではないかと考えているところ。

委員：町のPRは重要。遠いよそから来ていただいているので、そこら辺を考えていただければPRできる。自分達はムラおこしグループで、毎年桜の里でぼんぼりをあげている。30年くらい、行政の補助をもらわずにやっている。自主的にやっているが、行政も少しでも手を貸してくれるならば、もっと素晴らしくなり、多くの方に来てもらえる。よろしく願いたい。

会長：他にございませんか。

委員：24ページ、主な取組の「6新規就農者の育成・確保」について、この中には、後継者育成や県外からの就農希望者の受け入れも入っているのか。

事務局 入っています。

会長：他にございませんか。無いようでございますので、次に「第4章個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】」、28ページから30ページまでについて、意見や質問ありませんか。特にこのことについては、次の我が白石町を担ってもらう、教育、人材育成に関する問題ですので、将来的な展望として大きな課題と思いますので、よろしく願います。

(事務局から、補足説明)

委員：28ページの主な取組「3確かな学力の育成」について、ICT教育が増えてきているが、やはり習字とかそろばんとか基本となることをしっかりやっ
ていかなければ、ICTにもついていけないと思うので、この項目のなかには、
そういうことも含まれているのか。

学校教育課：ICT教育の推進については、佐賀県の推進開始以来、白石町でも推進
してきている。委員が言われるように、あくまでICTは手段・方法なので、
一番子どもの基本とすべき、どこに出しても白石町の子どもたちはしっかり
していると言われるように、基礎学習が大切だと思います。

委員：数字の表記をするときに、3ケタでコンマが付いているのはそろばんからな
ので、小さいときからやっていけば、大人になっても取り組めるので、そろ
ばん、習字を基本とやっていただきたい。

学校教育課：ICT利活用教育が進められているが、これからの時代、お金を引き出
すにも、電車に乗るときにも情報機器を使うが、目的のひとつは情報機器を
どう使いこなすかということ。もうひとつは、基礎的なものを身に付けるた
めに、どういう手立てで、どういう方法手段で教えた方が一番早く確実に身
に付くのか、その一つがコンピューターです。教師が電子黒板を使ったり、
子どもがタブレットやパソコンを使ったりしているが、全て電子黒板を使う
から学力が付くわけではなく、こういう教科のこの内容については電子黒板、
パソコンを使った方がよいだろうと、より効果があるだろうと仕訳けながら
やっている。情報機器を使えば使うほど、体験活動が大切になってくる。両
方をうまく組み合わせることで、自立と社会性が少しずつ付いてくるのでは
と思う。委員のおっしゃるよう進めている。

会長：他にございませんか。無いようでございますので、「第5章自然環境と共生
するまち【自然環境の保全】」、31ページから33ページまでについて、意
見や質問はありませんか。

(事務局から、補足説明)

(事情により一時中断)

会長：それでは、次に「第6章 参加と交流で築く開かれたまち【町民参加】」、3
4ページから36ページまでについて、意見や質問ございませんか。

委員：総合計画作成時にはかなりの項目が並び、これだけ仕事をするとなると相当
の労力と職員数が必要。ただ私心配するのは、36ページに町職員の削減と
いうことで、30名程度削減するとありますが、果たして現在それだけ減ら
す課があるのか。もう一点は、保育園の民間移譲に関係があるのかどうかお
尋ねしたい。

総務課：現在の町職員数284人を平成32年3月31日現在255人にするということで目標数値として掲げている。達成できるのかということですが、平成25年度から組織機構改革を始めながら目標達成に向けて動き出している。現在町で削減計画を決めているが、目標を少し上回って達成できる予定。役場の事業量は毎年増えているが、機構の見直しをしながら町民サービスを落とさずにこの目標達成の方向で進めていく。保育所の公設民営化により、平成27年度からはあかり保育園1園のみになり、保育士の数も多くなり過ぎるので、意向調査もしながら事務に転任していただくようにしている。今年度11人の方の研修を進めている。平成28年度は未定だが、それも含む。

委員：戻りますが25ページの商工業の振興について、現況と課題に「用地・交通基盤、用水確保及び農地転用などの問題があることから企業誘致が厳しい状況にあります。」と書いてるが、小中学生アンケートでは、白石町が好きで住みたいのに、働く場所が無いから住めないとなっていた。兼業農家が多く、よそに働きに行き収入を得ている人が多い。問題として出ているのに、全然町としてどうするかということ、一番子ども達や孫が定住できないことを改善することをやってもらいたい。

私は商工業をやっており、秀津の商店街で暮らしているが、今年ほどひどかったことはない。年末に全然人がいなかった。空き家がもの凄く多く、シャッター通りです。秀津の商店街でなんとか「ひーでん祇園」をやっているが、高齢化が進んでいる。役場旧白石支所跡地分譲地は、祭りは違う地区になる。若い人の定住が無いので、益々「ひーでん祇園」を続けるのが大変。子どもたちのアンケートでも「ひーでん祇園」は認められておりなんとか続けようとしている。仕事が大変なので後継者も少ない。役場として何かアイデアが無いか、元気のたまごも作ってもらいそれも利用して、私達も一生懸命考えてやっていきたい。商店街が飲食店でもやっていけない状況なので、何かアイデアをいただければと思う。

事務局：企業誘致について、基本的には白石町は農業地域なので、計画に書いているような問題がある。主な取組の6にあるように、方向性としては、県内の他の市町に通勤するのに住むのにはいい場所ではないかということで考えている。先ほど都市計画の話が出ましたが、それ以前に町民のコンセンサスをいただいて、町内での農地、住宅地、商業地などをどうするかという白石町国土利用計画策定が必要。現行総合計画策定当時とは大きく状況が変わっている。有明海沿岸道路も第2次総合計画期間中に福富インターまで開通する予定。佐賀圏や久留米圏への通勤圏になってくる。そういうことも含め、人口の減少を少しでも遅くすることを考えていかなければならないと考えている。

中心商店街の振興については、人口減少のなかではどうしても消費者も減っているが、人口減少を少しでも緩める方策や元気のたまごなど色んなアイデアを出していきたい。今具体的なアイデアはないが、役場でも中堅職員で、『人口・将来問題プロジェクト』のなかで検討している。

委員：35ページに町税の減少の予想について書かれている。人口減少は避けられないと思う。白石町の一人当たり年間所得は非常に低い。所得を上げるように、農産物が一つ一つが高く売れるような政策が必要。農業が基幹産業なので、農産物が高く売れるように白石町のPRをしないといけないのではないか。山口佐賀県知事が誕生した。県職員で中国やアジアで、肉とかを売っている。旧有明の人だが、知事は世界に名を轟かせる佐賀県にしたいと言っている。一緒になって白石町の農産物を売る方法をとれば、所得も増え、人口減少や自己財源対策になる。

事務局：知事の世界への発言もありました。私も海苔とか、米とおにぎりはヘルシーではないかとも思う。県にもお願いしてはどうかと思う。

学校教育課：先ほどの小中学生アンケートについて、8割の子どもたちが白石町に愛着がある。仕事が無いなどで住めないという結果だった。教育委員会で企業をどうこうするということはできない。中学生はキャリアスタートアップ事業で職業体験をやっている。これを小学生からやっというところになっている。生涯学習課が主管しているおおどぼうクラブがあり、47人参加している。1月に親子でお仕事体験といって、町商工会青年部とコラボしたら、子どもたちに町内にこんな仕事があったのかという発見をってもらう取組もやっている。

会長：それでは全体を通して、意見や質問はありませんか。

委員：少子高齢化だが、高齢者が増えてきており、医療費抑制になり、健康で長生きしてもらえるように、ニュースポーツの参加を呼び掛けるべきだが、そういう項目がどこに載っているのか。見当たらない。

生涯学習課：ニュースポーツについては、29ページの第4章個性豊かな人と文化を育むまち、第2節生涯学び楽しめる環境の充実のなかで、課題以下に記載している。

委員：全体的に見て、役場の担当者は分かっているかもしれないが、序論の1ページに分かりやすく、必要とされる計画とするためにとされているが、自分が見て分かりやすいと思わない。もう少しだけ分かりやすい計画にして欲しい。

事務局：例えば、ニュースポーツ推進でも、記載を詳しくということか。

委員：全体的に。どういったものが、どうされるのか見えてこない。

事務局：さきほどの総合計画の検証のなかでも、たくさんの事業名を出しているが、全部の事業を出すとかかなり多くなり、逆に分かりにくくなるので主な取組と

して記載している。表現で分かりにくいところがあれば、策定委員会に持ち帰って検討しますが、基本的には今のスタイルでどうかと考えている。

委員：なるべく分かりやすい言葉でお願いしたい。

委員：大気汚染について、中国から飛んできている。町内では農家の人は外で仕事をされているが、大気汚染の状況を知らせることはしていないのか。

生活環境課：PM2.5の指標について公表されているが、健康被害予防のこともありこれから考えていかなければならないと思う。広報の方法も検討していきたい。

委員：町職員の削減が書かれているが、前回話し、アンケートにあった議員の定数についてもお願いしたい。良い計画が出来たと思う。白石町は選挙の投票率も高かったが、いかに白石町のPRをしていくか、職員の知恵を絞っていただきたい。総合計画についても色んな問題が書かれており、勉強すれば勉強するほど細かく書いてあり、世の中が見えてくる。

会長：貴重な意見ありがとうございました。それでは委員さんから具体的な意見がありましたので、事務局としても十分反映していただき、総合計画が実現するようにお願いして、この項目を終わりたい。
次に、(3) その他について、事務局から。

事務局：本日総合計画素案について御審議いただいた意見については、役場の策定委員会で検討して『案』を策定したい。その作業を今月中に行い、2月上旬に審議会開催をお願いしたい。その後の回で、答申を戴ければと思うが、まずは『案』を検討していただきたい。日程はお知らせするので、最後までよろしくをお願いしたい。

○閉会

会長：他に委員さんからありませんか。無いようでございますので、これで平成26年度第4回総合計画審議会を終わらせていただきます。長時間の審議ありがとうございました。